

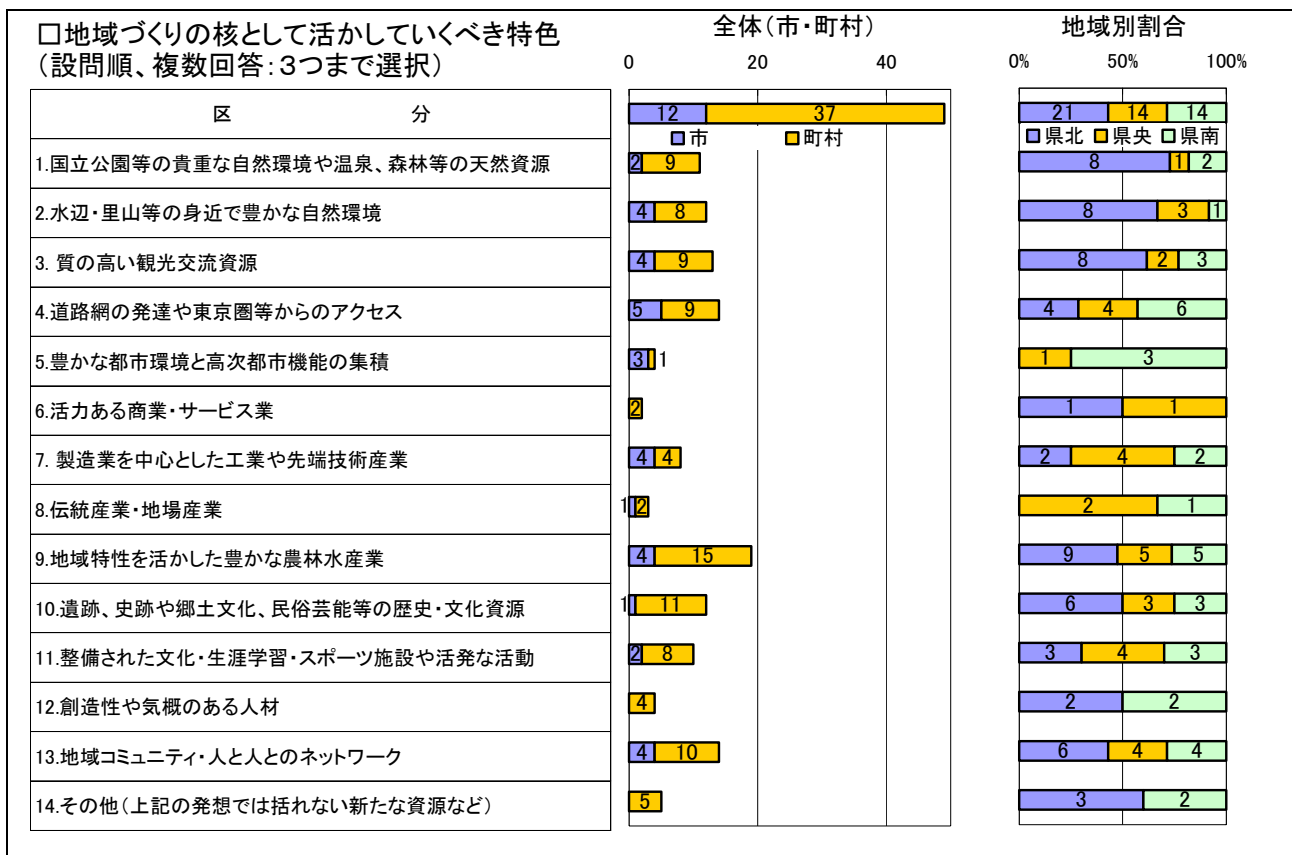
4. 市町村の特色ある地域づくりについて

地域づくりの核として活かしていくべき特色を14項目より選択してもらった。

全体では「9.地域特性を活かした豊かな農林水産業」が最も多く、次いで「4.道路網の発達や東京圏等からのアクセス」、「13.地域コミュニティ・人と人とのネットワーク」となっている。

市・町村別を見てみると、市では4が最も多いものの全体的にばらつきがある。町村では9や「10.遺跡、史跡や郷土文化、民俗芸能等の歴史・文化資源」、13が上位項目として挙げられる。

地域別に見てみると、県北では9に次いで「1.国立公園等の貴重な自然環境や温泉、森林等の天然資源」、「2.水辺・里山等の身近で豊かな自然環境」、「3.質の高い観光交流資源」が多くなっており、自然環境や観光資源への関心の高さを示している。県央では9に次いで4、「7.製造業を中心とした工業や先端技術産業」、「11.整備された文化・生涯学習・スポーツ施設や活発な活動」、13が同数で並んでいる。県南では全体と同様に4、9、13が多かった。



なお、各市町村が特色と考える具体的内容は、個々の施設名等であるため省略した。